

2020年12月21日

生徒・卒業生、保護者、ひと塾、相談者、関係者各位

# むさしの学園&むさしの高等学院からのお願い

NPO法人 フリースクール **むさしの学園**

埼玉県指定技能連携校 **むさしの高等学院**

(星槎国際高等学校・志木キャンパス)

代表理事 望月 泰宏【携帯：090-1554-1755】

## 令和2年12月・令和3年1月の予定

**\* 冬 休 み \***

令和2年12月25日(金)～～令和3年1月6日(水)

**2学期 終業式**

令和2年12月23日(水) 午後2時半～

**3学期 始業式**

令和3年1月8日(金) 午後2時半～

「むさしの高等学院」では令和3年の新入生、令和2年の転入生を募集しています。お気軽にご相談を下さい。

詳細は、「むさしの高等学院（電話：048-478-0006）」にお問い合わせください。

**お時間があるとき「むさしの高等学院」で学園・学院のHPをご検索してください**

## 望月の独り言

コロナウイルスで世界が混乱しています。12月18日現在、世界の感染者数が約7500万、死者が約170万人弱のようです。ウイルスの脅威は今に始まったことではありません。100年近く前、第一次世界大戦の頃、スペイン風邪（当時の新型インフルエンザ）が世界中に流行しました。全世界では5000万人、日本本土では約45万人の死者を出したと言われています。最近では、1957年の「アジア風邪」、1968年の「香港風邪」、古くは、「天然痘」、「ペスト」等々のウイルスによる混乱が発生しています。このようにウイルスによる脅威はいつの時代にもありました。石弘之氏によれば、ウイルスの出現は紀元前8000年頃と言われています。「農耕」「定住化」「牧畜」と共に始まったようです。更に、都市化が進み、人の移動が頻繁になるに従い、ウイルスが世界に大量死をもたらすようになりました。（「感染症の日本史」磯田道史・文芸春秋新書を参考）

「ウイズ・コロナ」という言葉がよく聞かれますが、「ウイズ・ウイルス」と言った方がいいのかも知れません。ウイルスは自分自身が生きるために変異を繰り返し、生き続け、私たちの周りに常にいます。では、「私たちはどうしたらいいのでしょうか」。ワクチンの実現！それも一理ありますが、それで終わりではありません。ワクチンができて、ウイルスは変異を繰り返し、新しい姿をして再び私たちの前に現れるでしょう。望月が思うに、最終的には「ウイルスに感染しないこと、ウイルスを他人に感染させないこと」以外に方法はないのです。経済発展に胡坐をかき、のんのんとしてきた私たちへの「自戒の言葉」であり、「自分との戦い」でもあります。コロナウイルスの問題を「自己責任」に転嫁するつもりはありません。コロナ問題を機に、この世に「生（せい）」を受けた私たちは、「生かされている」ことの喜びを真摯に感謝し、「他人（ひと）と共に質素に生きる」ことの大切さ、これからの社会をどうしたらいいのか、私たちはどう生きるべきかを、今こそ学ぼうよ！！と望月は言いたいだけです。